

「惑星科学への誘い」

「太陽系大航海時代」ともいえる21世紀。小惑星探査機「はやぶさ」をはじめ、さまざまな探査機が月、小惑星、火星などを訪れ、私たちの想像を超える多様な「異形の世界」を明らかにしてきました。本講座では、最新の観測・探査・分析・モデル計算から見てきた、太陽系の最新描像について紹介します。

- ところ** 茨木市文化・子育て複合施設おにクル（茨木市駅前3丁目9-45）
7F きたしんプラネタリウム
- 日時** ①令和8年11月5日 ②12月3日 ③令和9年1月14日 〈19:00～20:30〉
- 講師** 大阪大学大学院理学研究科 教授 寺田健太郎 氏
- 定員** 45人（多数の場合抽選）
- 対象** 中学生以上の方

① 令和8年 11月5日（木）

「月に大気ってあるの？」

月には、私たちがイメージするような空気はありません。重力が小さく、地球のような大気を保てないからです。しかし実は、月の周囲には極めて希薄な「外気圏」が存在します。いったい何が月の大気を生み出しているのでしょうか？月周回衛星「かぐや」の観測から見てきた、月の大気の最新研究に迫ります。

② 令和8年 12月3日（木）

「火星のひみつ」

地球と同じく岩石の大地と大気を持つ火星。しかし、かつて水に満ちていたと考えられる火星は、なぜ現在の姿になったのでしょうか？ 探査機やローバー、火星から飛来した火星隕石の高精度な分析から見てきた「地球と似て非なる」火星の歴史と進化に迫ります。2026年10月打上げのMMXにも注目です。

③ 令和9年 1月14日（木）

「隕石が語る太陽系の歴史」

広大で希薄な宇宙空間で、太陽系はいつ、どのように誕生したのでしょうか？ 地球に降ってくる隕石や、「はやぶさ」が小惑星リュウグウから持ち帰った試料の高精度な分析から、太陽系の誕生と進化の歴史が少しずつ見えてきました。本講座では、最新の研究から明らかになった太陽系の姿に迫ります。

「惑星科学への誘い」 申込方法

- ① 令和8年10月15日（木）までに
② 11月12日（木）までに
③ 12月14日（月）までに

WEB申し込み
（右図読み取り）



※各開催日の2週間前ごろに、抽選結果をメールで連絡します。

小学生対象

「月のひみつ」

令和9年 2月6日（土）

※詳細は広報1月号をご覧ください。